

英・数・化の3科目でセンター95%達成！

慶應(薬) 北里(薬)合格

センター試験結果 英語195 数IA97 数IB92 化学95



佐々木廣大 国際基督大学高校

1回目の受験は全敗。2月に浪人が決定した。

大学受験を振り返る・・・。

高校2年の秋に東進に入学した。どの授業も知的感動の連続でつまずいていた数学、化学の成績は半年でセンターレベル80%を超えた。しかしセンター本番で頭が真っ白になり70%弱に終わる。そのままズルズル引きずり私大入試も失敗。

本番の弱さを痛感する。部活をやっていたことや勉強への取り組みにムラがあったことにも後悔した。予備校探しをしないとイケないと思っただけで思っただけで動けない。

西武線で池袋に行くには1時間半かかる。電車は混雑して勉強はできない。時間がもったいない。

いくつもの予備校のHPを見るもここがイイ！と思うものはなかった。

ある日、佐々木が通っていた東進のHPを見る。体験記が掲載されていたので読んでみると東進でもう一年過ごすのは意外とありかなと考えはじめた。他の予備校に比べて圧倒的に授業がいいことと2月からでもスタートできることが魅力的に思えた。

数日悩むも、佐々木は2月下旬には東進でスタートを切ることになった。

元々通っていたので何をすべきかは明確であった。来る日も来る日も受講＋高速マスター。現役時に完璧には徹底できなかった『テキストの復習』を十周繰り返した。

「同じ問題を解きなことで基本フォームが作られ、それが別の問題を解くときにも役に立つ。」と担任にアドバイスされたのでひたすら量をこなした。センター過去問演習は6月から始め『全科目10年×2回＋大問別特訓』を8月中に終わることが出来た。その段階で正答率90%を記録した。秋冬、志望校対策講座の受講、そして慶應大学の過去問に取り組む。合格最低点ギリギリの点数を1回目で出せた。北里に関しては8割とれた。いつの間にか佐々木の机にはボロボロになった赤本と青チャート・東進のテキストが積みあがっていた。

間違えた問題はそれを解きなだけでなく似た問題を赤本・チャートから探し徹底的に解きなす。佐々木に分からない問題、できない問題はほとんどなくなっていった・・・・・・・・・・

・・・今、佐々木は慶應大学薬学部に通っている。そして過ごしていた東進でアルバイトをしている。



「数学と物理の質問はやっぱり多いですね。自分は化学選択だったんで物理はちょっと自信はないんですけど。

生徒に教えられるように物理を勉強しています。

あと質問に答えるだけでは成績は上がらないので合格する勉強法・伸びる勉強法も日々伝えています。」

佐々木を慕っている生徒は多い・・・。